

## マリンバのリズムを楽しむ そうま音楽夢工房演奏会



そうま音楽夢工房第78回演奏会「親子で楽しむ！わくわくマリンバコンサート」は令和5年12月9日、相馬こどもみんなの家で開催され、親子連れ22組64人が訪れました。出演者は、マリンバ奏者の鴨田早希さんと飯野未奈美さんの2人。

当日は、トルコ行進曲などが演奏され、参加者らは、鴨田さんの優しい語り口やマリンバの柔らかかなリズムで楽しい時間を過ごしていました。

## 消防団の活動を学ぶ

### 八幡小学校消防団員派遣授業

消防団員派遣授業は令和5年12月12日、八幡小学校で行われ、同校3年生の児童ら16人を対象に行われました。

当日は、中島圭一市消防団第六分団副団長を講師に迎え、「地域を守るヒーロー相馬市消防団」と題した授業が行われました。

参加した児童らは、八幡地区のために貢献できることや消防団員としてのやりがいや学び、理解を深めていました。



## 青ノリ今季初 水揚げ 相馬双葉漁協



相馬双葉漁業協同組合の青ノリの初漁は令和5年12月13日、松川地区、岩子地区から出漁し、カゴいっぱい青ノリが同組合ノリ・アサリの集荷場に次々と運び込まれました。

当日は、19隻の船が朝に収穫した合計1、138キログラムの青ノリが水揚げされ、選別に分けられました。

収穫した青ノリは、色、つやの良さ、黒ノリの混入具合などによって等級が決められた後、取り引きされ、県内外で販売されます。

## おいしいイチゴを届ける

### 和田観光苺組合



和田観光苺組合によるイチゴの贈呈は令和5年12月13日、市役所で行われ、齋川一朗同組合組合長らが訪れました。

齋川組合長は、「今年は大粒の品種は2週間ほど生育が遅れています、美味しいイチゴができました。ツアーなどで多くの方に来ていただく予定なので、みんなでもてなしたい」と述べ、立谷市長は、届いたイチゴを早速頬張っていました。

## 地域課題を研究開発につなげる

### F-REI市町村座談会

F-REI（福島国際研究教育機構）市町村座談会は令和5年12月19日、市役所で行われ、立谷市長や阿部勝弘副市長のほか、関係者約30人が参加しました。

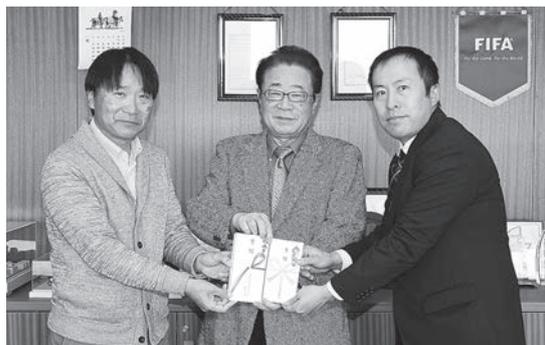
当日は、山崎光悦F-REI理事長のあいさつに続き、立谷市長は「市の課題である人口減少や地域活性化について、F-REIの皆さんと歩調を合わせて解決に向けて取り組みたい」と述べ、連携に対する期待を示しました。



## 寄付ありがとうございます

### ▽ADEKA

### 労働組合相馬分会



株式会社ADEKAによる寄付は令和5年12月13日、市役所で行われ、相川雅司工場長ら3人が訪れました。

寄付は、株式会社ADEKAおよびADEKA労働組合相馬分会から福祉事業の充実を願って送られたものです。

寄付金を受け取った立谷市長は「寄付ありがとうございます。高齢者支援や福祉事業のため、大切に使用させていただきます」と述べました。

### ▽相双五城信用組合

相双五城信用組合による寄付は令和5年12月26日、市役所で行われ、梅澤国夫同信用組合理事長が阿部勝弘副市長に寄付金を手渡しました。

同組合は、令和2年に「そうごしんSDGs宣言」を策定し、令和5年6月に募集額の一部を寄付する「SDGs定期預金」を販売。

寄付は同定期預金によるもので、寄付金を受け取った阿部副市長は「温かいご支援ありがとうございます。いただいた寄付金は教育のために大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



## クリスマスで世代間交流 西部子ども公民館



西部子ども公民館「クリスマス会」は令和5年12月22日、同館で開催され、児童ら約60人が参加しました。

当日は、児童らの歌披露や地域の高齢者によるパネルシアターのほか、動物の名前が書かれたカードを使ったビンゴゲームが行われました。

ビンゴゲーム終了後にケーキが振る舞われ、参加者らは仲良く笑顔で頬張るなど、クリスマスの雰囲気を楽しんでいました。

## 社会教育および青少年健全育成に尽力 社会教育委員、少年センター補導員

社会教育および青少年健全育成関係の受賞報告は令和5年12月14日、市役所で行われ、佐藤葉子さん、武島昭良さん、丹野吉男さんの3人が福地憲司教育長に受賞を報告しました。

受賞者を代表し佐藤さんは、「これからも微力ながら地域づくりのお役に立ちたい」と喜びの言葉を述べ、報告を受けた福地教育長はそれぞれの受賞をたたえました。



## 全国大会出場での活躍を願う スポーツ大会出場報告

スポーツ大会出場報告は令和5年12月20日、市役所で行われ、ソフトテニスの松本倫佳さん（八幡小4年）、バレーボールの横山瑠菜さん（磯部中3年）ら5人が立谷市長に全国大会出場を報告しました。選手らは、県の推薦を受けて全国大会に出場。

式で、立谷市長が松本さんらに奨励金を手渡し、「県選抜に選ばれたことを胸に、日ごろの成果を十分に発揮してください」と激励しました。



## 奥州相馬氏700年の歴史を学ぶ 中央公民館「歴史講座」



中央公民館「歴史講座」は令和5年12月16日、同館で開催され、市民ら54人が受講しました。

当日は、南相馬市博物館主任学芸員の森晃洋さんを講師に迎え、奥州相馬氏の由来や中世・戦国時代の歴史的内容のほか、近世大名としての相馬家などが説明されました。参加者らは、講師の話を中心に聞き、地元の高い歴史への理解を深めていました。

## 親子のコミュニケーション法を学ぶ 中央公民館「家庭教育講座」

中央公民館「家庭教育講座」は令和5年12月14日、同館で開催され、保護者ら約20人が参加しました。

当日は、親業訓練シニアインストラクターの大屋弘子さんを講師に迎え、「家庭教育の役割について」と題して講座が行われ、具体的な事例を取り入れた「子どもの心を開く聞き方」、「子どもの心に届く話し方」などが説明されました。

参加者らは、講師の話を中心に聞き、コミュニケーション



ン法の理解を深めました。

## 書道の筆使いを学ぶ 中央公民館 子ども教室



中央公民館子ども教室「子ども書きぞめ教室」は令和5年12月25日、同館で開催され、市内の小学生26人が参加しました。

当日は、相馬書道会の遠藤利男さん、志賀正さん、一條眞之さん、佐々木美穂さんの4人を講師に迎え、筆の基本的な使い方や筆の運び方などが説明されました。

参加した児童らは、講師の指導に熱心に耳を傾け、真剣な表情で筆を走らせていました。

## 金メダリストから中高生らにエール 小平奈緒氏講演会

小平奈緒氏講演会は令和5年12月23日、総合福祉センター（はまなす館）で開催され、市内の中学生や高校生など約300人が参加しました。

同講演会は、市スポーツ協会の主催。

講師の小平奈緒さんは、2018年平昌オリンピック女子スピードスケート女子500メートルの金メダリストで、現在は各種イベントや講演会などで活躍しています。

参加した生徒らは、小平さんの一言一言を今後の試合や

生活に生かそうと、真剣な表情で聞き入っていました。



## YouTube 相馬市 チャンネルからのお知らせ



トピックスの一部は、市公式YouTubeチャンネルで動画を公開しています。下記のQRコードからアクセスし、ご覧ください。

▽マリンバ  
コンサート



▽初競り



チャンネルは  
こちらから



## 地震被害を受けた能登町へ

### 職員と給水車を派遣



1月7日、令和6年能登半島地震で大きな被害を受けた能登町（石川県）に職員と給水車を派遣するため、市役所から職員2人が出発しました。市は、地震の影響により、現地で断水の被害が発生していることから、職員と給水車の派遣を決定。

当日は、最大積載量3、000リットルの加圧式給水車に水を貯め、断水支援のため現地に向かいました。

## 令和6年の新しい年を迎えて

### 仕事始めの式

相馬市役所の令和6年仕事始めの式は1月4日、同所で行われ、今年目標や課題などについて、立谷市長が訓示しました。

立谷市長は、集まった約80人の職員を前に、「市民の不幸を一つでも減らす気持ちをもって、今年も帯を締め直して業務に勤しむことを期待します」と決意を込めた訓示をし、職員にさらなる精励を求めました。



## 誓いを新たに 新春のつどい



相馬市新春のつどいは1月5日、Nリゾート福島で開かれ、市内各団体や企業の代表など約270人が参加し、新年の門出を祝いました。

立谷市長は「今年は市政施行70周年を迎えます。私たちは東日本大震災など数々の困難を乗り越えてきました。これからもさまざまな事業や課題に取り組んでいくことが先人の労苦に報いることだと考えています。新年を皆で祝い、気持ちを一つにして歩んでいきたい」と述べました。参加者は、今年の抱負や展望などを語り合い、新たな発展を誓いました。

## 令和6年初競り

### 相馬総合地方卸売市場

相馬総合地方卸売市場の初競りは1月5日、同市場で行われ、威勢の良い競り声が響きました。

「初せりの式」は、水産部と青果部合同で行われ、水産部の加藤邦喜相馬魚類株式会社代表取締役と青果部の菊地洋一株式会社相馬青果代表取締役があいさつし、立谷市長が祝辞を述べました。

参加した仲卸業者らは、熱心に品定めを行い、新年最初の魚や野菜を競り落としてい

## 防火への誓い新たに市消防出初式

市消防出初式は1月7日、



スポーツアリーナそうま第一体育館で開かれ、市消防団員と市女性消防隊員など関係者約300人が参加しました。

式で、鎌田重昭団長の訓示に続いて、立谷市長が「地域を守り、市民の生活の安全のため、力強く誇り高い消防団として尽力をお願いします」と訓示し、参加者は消火・防災への誓いを新たにしました。式終了後、中村城跡内堀でポンプ一斉放水が行われました。

